



2006 年度事業計画書

2006 年 4 月 1 日から 2007 年 4 月 31 日まで

特定非営利活動法人 ADRA Japan

1 事業実施の方針

(1) ADRA Japan の事業実施基本方針

ADRA Japan の事業実施基本方針は、当団体の 3 つの使命である国際開発支援、人材教育、啓発をより有効的にかつ、効果的に実現していくことである。そのために ADRA Japan は各事業の担当者とその責任を明確にし、立てられた計画に沿って実施していく。

「国際開発支援」の実施は、支援対象の ADRA 各国支部と健全な信頼関係を構築すること、すなわちそれぞれの支部の人材、実績、地元における評価、また運営方法を基本とした能力を確認していくことから始まる。いずれの支援もまず、資金源が確保でき、明確な支援計画ができたことを確認し実施する。さらに事業責任者による事業及び会計の定期報告書を支部長が確認し、理事会・監事に進捗状況を報告する。また、これら国際開発支援活動を通して多くの人々に新たな知識や技術を提供し、それを社会に還元してもらうことも ADRA Japan の役割として認識している。「人材育成」の実施方針は、人々に国際協力の理念探求の機会を提供することと同時に支援活動への現場体験の機会を提供すること、さらには日本人として国際協力への使命を果たすことのできる人材を輩出していくことである。それにより海外 ADRA 支部の運営能力を強化し、事業資金をより効率的に活用するために貢献する。「啓発」の実施方針は、広く人々に当団体の活動を報告し、国際協力に対する理解と協力を呼びかけていくことである。その過程において賛助会員やパートナーとなる支援者の増加を図り、ADRA の活動を精神的、経済的に支える土台を築いていく。

(2) 2006 年度事業計画

過去 2 年間に於いて、ネパール、タイ、カンボジア、インド、モンゴル、ラオス、ミャンマーの各支部と関係構築をおこなってきた。2006 年度は、スタッフの長期派遣を視野にいれ、プロジェクトの展開をおこなう方針である。毎年医療チームを送っているネパール、2005 年の春のボランティア活動の受け入れ支部となったベトナム支部、リサイクル支援など小さな事業で関係構築ができたラオス支部にそれぞれ日本人を派遣し、現地支部とともにプロジェクトの構築、資金獲得、プロジェクト運営をおこなう。モンゴル、タイ、カンボジア、インド各国は、前年に引き続き、小規模資金援助を中心におこなう。アジアにおける数少ない支援国である日本に設立された ADRA Japan は世界の必要に応えると同時に上記以外の開発支援を必要としている同アジア圏の支部に対しても積極的に支援をしていく予定である。そのためにも各国支部

の運営能力を確認し、信頼関係を構築するための調査が必要となる。各国支部を訪れ調査をすると同時に小額の資金支援から始め、その対応や運営を評価し次年度への支援対象国としての可能性を確認する。

ADRA Japan はアジアを基本に支援活動をおこなっているが、世界で最も貧しい国々が集中しているアフリカ問題にも取り組んでいかなければならないと考える。貧困、HIV/AIDS 等の感染症や病気、干ばつや洪水などの自然災害、そして紛争による破壊、難民、少年兵、少女兵の問題等々、世界が抱える問題をすべて含んでいるのがアフリカである。その影響はアフリカだけに留まらずに地球規模の課題となっている。ADRA Japan は緊急救援としてリベリア、スーダンにかかわってきているが、今後も支援を展開していく予定である。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定日	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	支出見込額(千円)
開発支援事業						
ネパール 口唇口蓋裂手術 医療支援	日本人医療チームを派遣しての口唇口蓋裂患者への手術、技術交流	11月 ～ 12月	ネパール バネパ市	50人	直接60人 間接300人	13,500
ネパール スポンサーシップ	ネパールの子どもへの学資支援	通年	ネパール	2人	学童児60名	1,000
ネパール 簡易保健所建設	簡易保健所を建設することにより衛生状態の改善に努める	4月 ～ 3月	ネパール カブレ郡	2人	地域住民等 不特定多数	1,150
ベトナム 開発事業支援	日本人スタッフを派遣し、現地支部とともに現地の必要性にこたえる	4月 ～ 3月	ベトナム	2人	地域住民等 不特定多数	2,000
ラオス 開発事業支援	日本人インターンを派遣し、現地支部とともに現地の必要性にこたえる	4月 ～ 3月	ラオス	2人	地域住民等 不特定多数	500
ミャンマー 経済基盤向上支援事業	貧困家庭の経済基盤向上支援をおこなう	4月 ～ (3年)	ミャンマー	2人	地域住民等 不特定多数	51,000
モンゴル 教育事業支援	学校に通えない、勉強についていけない子どもたちへの教育支援	4月 ～ 3月	モンゴル	3人	地域住民等 不特定多数	1,000
リサイクル支援 中古自転車	中古自転車を途上国に送り活用する	通年	未定	3人	地域住民等 不特定多数	500
リサイクル支援 中古救急車	中古救急車を途上国に送り活用する	通年	未定	3人	地域住民等 不特定多数	500

開発支援	開発事業のプロジェクト形成調査、小規模事業への資金支援	通年	タイ・カンボジア・インド等	4人	地域住民等 不特定多数	1,500
緊急支援事業・復興事業						
スーダン ダルフル州・水 救急事業一期	西ダルフル州における難民やコミュニティへの水供給事業	2005/4 ～ 2006/4	スーダン 西ダルフル	4人	地域住民等 不特定多数	1,000
スーダン ダルフル州・水 供給事業二期	西ダルフル州における難民やコミュニティへの水供給事業	5月 ～ 12月	スーダン 西ダルフル	4人	地域住民等 不特定多数	125,000
スーダン 南部スーダン調査	2005年南北和平が成立した南部スーダンにおける帰還難民支援の調査	4月	スーダン南部	4人	地域住民等 不特定多数	2,000
スーダン 南部スーダン	南部スーダンにおける帰還難民支援	6月 ～ 3月	スーダン南部	4人	地域住民等 不特定多数	125,000
パキスタン 地震被災者支援	2005年10月パキスタンを襲った地震の被災者支援	4月 ～	パキスタン	3人	地震被災者 不特定多数	1,000
緊急救援事業	自然災害・紛争による被災状況の調査、資金支援	随時	不特定地域	5人	被災者等 不特定多数	5,000
人材育成事業						
三育学院短期大学専攻科	国際医療の現場を体験することにより国際医療の現状理解	7月 ～ 8月	ベトナム	3人	地域住民等 不特定多数 参加者7人	1,900
夏季学生ボランティア派遣	国際開発支援の現場を体験することにより開発の現状理解	8月 ～ 9月	随時決定	3人	地域住民等 不特定多数 参加者	1,900
春季学生ボランティア派遣	国際開発支援の現場を体験することにより開発の現状理解	2007年 2月～ 3月	随時決定	3人	不特定多数 参加者	1,900
シニア海外ボランティア派遣	熟年の方々が国際開発支援の現場を体験することにより開発の現状理解		随時決定	3人	地域住民等 不特定多数 参加者	1,500
ファミリー・ボランティア派遣	家族で国際開発支援の現場を体験		随時決定	3人	参加者	1,500
インターン受け入れ	インターンシップを通して国際開発について学ぶ	随時	東京事務所	3人		300
研修	研修会の開催、外部研修への参加	随時	不特定地域	5人		500
国内啓発及び広報活動						
ADRA News	季刊誌の発行	年4回	東京事務局	10人	会員・他購読者 2,000人	1,800
メールマガジン	メールマガジンの発行	随時	不特定地域	5人	不特定多数	100
Web Site	ホームページの作成、他Web Siteへの参加	随時	不特定地域	5人	不特定多数	360

資料作成	啓発活動のための資料作成	随時		5人	不特定多数	1,000
イベント参加	啓発活動のため、国際協力イベントに参加	随時	日本国内	5人	不特定多数	200
報告会	活動報告会の開催	随時	日本国内	5人	不特定多数	1,000
学校訪問・受け入れ	教育機関での講義、修学旅行生の受け入れ	随時	日本国内	5人	不特定多数	500